

「観光産業を活かした地方創生について考える」

近年、地方創生が課題となり新潟県も観光産業に力を入れようとしています。外国人観光客の呼び込み、ソーシャルメディアの活動など、従来とは異なるアプローチの必要性も出てきています。観光客及び周辺領域に詳しい講師を迎え、企業、行政及び大学がどのように協働していけるかを考えます。

第1回

「外国人から見る日本の魅力： 豪欧米人へのおもてなし」

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて観光庁は訪日外国人旅行者4,000万人を目標に掲げ、地方の自治体や企業による観光客争奪戦が激しくなっています。しかし、日本人旅行者を相手にしていた従来のやり方では、外国人の需要はつかめません。日本人では気がつかない日本の魅力はどこにあるでしょうか？海外からの旅行者に素敵な思い出を持ち帰っていただくにはどうすればよいでしょうか？語学だけがその方法ではありません。私の視点から感じる新潟の魅力と、また来くなるサービスを紹介します（講演は日本語で行います）。

講師：アリス・ゴードンカー (Alice Gordenker) 氏

日時：2018(平成30)年9月27日(木)
15時～17時

講師略歴：

東京を拠点に活躍するジャーナリスト、ライター、インバウンドマーケティングコンサルタント。観光庁認定専門家。1958年生まれ。プリンストン大学東アジア学部卒業。国際基督教大学、立教大学に留学。ワシントンでジャーナリストとして活躍後、再び来日。



第2回

「ソーシャルメディア時代の観光： 地域の歴史・文化の活かし方」

情報通信技術の発展は、人々のライフスタイルにさまざまな変化をもたらしています。その一つに、「旅の形」の変化を上げることができるでしょう。

今回は、観光学がご専門である金沢大学の井出明准教授を迎え、敬和学園大学の環境経済学の房文慧教授、情報メディア学の戸信哉教授の3人で、ソーシャルメディア時代の観光の新しい組み立て方を考えます。新潟県内各地や新発田の歴史・文化、ロシアや中国を始めとする世界との交流の歴史など、さまざまな視点を参加者の皆さんと共有したいと思います。

講師：戸信哉 (敬和学園大学人文学部国際文化学科教授)
井出明 (金沢大学国際基幹教育院准教授)
房文慧 (敬和学園大学人文学部国際文化学科教授)

日時：2018(平成30)年10月29日(月)
19時～20時30分



戸信哉 教授



井出明 准教授



房文慧 教授

会場

イクネスしばた (新発田市諏訪町1-2-12)

その他

参加費はいただきません。本年度のオープンカレッジは、高等教育コンソーシアムにいがた【産学連携部会】事業として開催します。



高等教育 The Consortium of
Higher Education in Niigata
コンソーシアムにいがた
産学連携部会

お問い合わせ
お申込みは



敬和学園大学 〒957-8585
新発田市富塚1270

敬和学園大学
広報入試課 ☎ 0254-26-3625
FAX. 0254-26-3996 E-mail: kcop@keiwa-c.ac.jp

詳しくはWEBへ「敬和」で検索! ▶ 敬和

検索

